

11 News Letter



巻頭言

2023年度大会

開催案内

特集

東海大学新キャンパス紹介

年会費納入のお願い

2022. Jun.

動物の行動と管理学会

11 News Letter

2023. Jun.

動物の行動と管理学会

巻頭言 会長挨拶

青山 真人 (宇都宮大学)

会員みなさま、こんにちは。2023年度のはじめは2年に一度の役員改選がありました。前期(2021~2022年度)に続き、今期(2023~2024年度)も青山が会長を務めさせていただきます。副会長の両名を含め、今期の役員の方々は前期からの続投になっております。前期はコロナ禍の不自由な状況でもなんとか学会活動を、という特殊な時期でした。4名の大会理事(最も影響を受けたのは研究発表会であったかと思えます)を含め、前期の役員の方々には特別な活動を実行して頂きました。今、完全に元通り、とはまだ行かないかも知れませんが、前期の役員の方々に、今度はコロナから回復しつつある時期の業務をこなして頂くということでそのように決めさせて頂きました。

一方で、今回の改選で変わったこともいくつかあります。その1つとして、機関誌「Animal Behaviour and Management」(ABM)の展示動物分野の編集委員を、これまでの2名から3名へ増やしました(展示動物分野への投稿が増えていることへの対応です:本学会のアクティビティの高さを示すことであり、喜ばしいことと考えています)。前期から役員を継続して頂いている方々、また、今期から新たに役をお引き受け頂いていた方々、よろしくお願い致します。そして全ての会員の方々、本学会をともに盛り上げて行きましょう。

前のニュースレター10号の、竹田副会長の挨拶文には「もういい加減、コロナのことは忘れて…」という言葉がございます。私も同じ思いです、と言いつつやはり話題はコロナ関連になってしまいますが、今回は、元通りの生活に戻つつある喜び、期待を中心に書かせて頂きます。やはり楽しみなのは、9月に予定されている「対面の」研究発表会です(今後の状況に応じて変更の可能性もありますが、そのようなことがないよう、切に願っております)。思えば3年前の2020年、酪農学園大学での研究発表会が予定されておりましたが、これは完全に中止となりました。今回は酪農学園大での開催の予定であり、3年前のリベンジと言えるかも知れません。昨年度の2022年度の研究発表会は3年ぶりの対面開催でしたが、やはり様々な制限がある中での開催でした(たとえば、大学を会場にしなかったことなど:大学を会場にすると、その大学のそのときの規則に従う必要があり、不確定要素が多すぎるため:加瀬先生がニュースレター9号に経緯や苦労話?など書いて下さっています)。さらに今回は4年ぶりの対面の懇親会も予定されています(私は懇親会を「本番」と呼んでいます:発表会ではできなかった議論や、有意義な提案などの多くはこの場で為されます)。大会理事のみなさま、今回は「対面もオンラインも懇親会も」という会ですが、どうぞよろしくお願い致します。会場となる酪農学園大学、あるいは北海道の近隣の機関のみなさま、現地スタッフとしての準備も大変かと思いますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。研究発表会が予定どおりに開催されることを祈願しております。

私ごとですが、5月の連休のはじめに、3年半ぶりに新潟県小千谷市の闘牛(牛の角突き)に行ってみました。久々に多くのウシの敵対行動の観察ができました。写真はそのときのものですが、被写体は青山ではなく、現在、本学会が改訂版の作成に取り組んでいる「ある書物」にしました。その書物作成の任をついつい先延ばしにしてしまう私の悪い癖を戒めるためです。書物の向こうに、貴重な闘争行動を披露してくれている2頭のウシが小さく写っています。ちなみに、この書物の93ページに採用されている写真は、小千谷のお隣の山古志のものと同推察しています。



動物の行動と管理学会2023年度大会について

田辺 智樹(大会担当・北海道立総合研究機構酪農試験場)
加瀬 ちひろ(大会担当・麻布大学)
新村 毅(大会担当・東京農工大学)
リングホーファー 萌奈美(大会担当・帝京科学大学)

動物の行動と管理学会2023年度大会を下記要領にて開催いたしますので、奮ってご参加ください

【日程】

2023年9月13日(水)夏の学校
9月14日(木)口頭発表(優秀発表および一般)、役員会、懇親会
9月15日(金)公開シンポジウム、口頭発表(一般)、ポスター発表、総会
9月16日(土)現地検討会

【会場】

酪農学園大学(学術大会およびシンポジウム)
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地
交通アクセス・キャンパスマップ <https://www.rakuno.ac.jp/access.html>
口頭発表・シンポジウム会場: 中央館学生ホール
ポスター発表会場: 中央館1Fロビー

北海道クリスチャンセンター(夏の学校)
〒060-0807 札幌市北区北7条西6丁目
交通アクセス <https://www.hchrisc.com/access.html>

札幌市円山動物園(現地検討会)
〒064-0959 北海道札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
交通アクセス <https://www.city.sapporo.jp/zoo/info/riyo/access.html>

今年度の大会は対面開催を予定しています(※一部配信あり: 口頭発表とシンポジウムのみzoomで配信予定)。対面での参加者は200名まで、オンライン参加者は250名までとします。なお、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、開催方式が変更される可能性があります。

学会参加(発表なしも含む)、公開シンポジウムへのWeb申し込みを開始しますので、下記事項を参照の上、奮って御参加下さい。

学会参加のみの場合も事前申し込みが必要となりますのでご注意ください。

申し込み後、申し込み内容の自動返信がありますので、Google formからのメールが受け取れる設定にしておいて頂くようお願い致します。

自動返信がない場合は、担当者(田辺)まで御連絡下さい。なお、上限に達した企画については、その時点で申し込みを締め切りますので、御了承下さい。

【学術大会】

日時: 9月14日(木)9:30~17:30、9月15日(金)13:30~16:30
参加費: 無料
参加申込期間: 5月22日(月)~9月1日(金) (発表申込み〆切6月16日、要旨提出〆切6月30日)
申込フォーム: <https://forms.gle/hD8i7k5pFW9nRvwY8>
定員: 対面; 先着200名まで
オンライン(ウェビナー); 先着250名まで
※定員になり次第申込を締め切ります
※発表者はすべて対面での参加となります

【公開シンポジウム】

日時:9月15日(金)9:00~11:30

参加費:無料

参加申込期間:5月22日(月)~9月1日(金)

申込フォーム: <https://forms.gle/ov39oyCqxwaX6tRh9>

定員:対面:先着200名まで

オンライン(ウェビナー):先着250名まで

※定員になり次第申込みを締め切ります

◇シンポジウムテーマ:ドローンからみた動物の行動と管理

◇講演者

小川健太(酪農学園大学)

「ドローン空撮画像を用いた野生生物の検出・カウントについて(仮題)」

井上漱太(名古屋大学)

「野生動物×ドローン×AI(仮題)」

前田玉青(総合研究大学院大学)

「ドローンから見るウマの重層社会集団(仮題)」

【夏の学校】

日時:9月13日(水)13:00~

場所:北海道クリスチャンセンター

参加費(予定):参加費5,000円(宿泊費・食事代込み)

参加申込期間:5月22日(月)~6月23日(金)

申込フォーム: <https://forms.gle/dEMrp5ZJtgWo3wFT7>

定員:対面:先着30名まで

オンライン(ウェビナー):先着100名まで(講演のみの視聴となります)

※本企画は若手研究者を対象としています

※定員になり次第申込みを締め切ります

◇講演者(予定)

近藤誠司(北海道大学)

「我々は何をやって、何をやらなかったか？」

リングホーファー萌奈美(帝京科学大学)

「個体~個体群レベルで探るウマの社会的知性と行動」

加瀬ちひろ(麻布大学)

「フィールドだけでは分からない野生動物の素顔~飼育下と自然環境下の両方から研究する」

塚原直樹(株式会社CrowLab)

「カラス研究者が起業しました~最新カラス研究と起業の赤裸々な話~」

早川卓志(北海道大学)

「ユーカリ林のコアラ:森林火災前と火災後の行動の変化をゲノムで探る」

【現地検討会】

日時:9月16日(土)

場所:札幌市円山動物園

内容:円山動物園での動物福祉に関する取り組み紹介、ゾウ舎の見学(予定)

※現地検討会の詳細および申込みについては後日連絡いたします。

【懇親会(予定)】

日時:9月14日(木)18:30~

場所:札幌駅周辺

※懇親会の詳細および申込みについては後日連絡いたします。

【研究発表会申込み要領】

発表者は対面での参加とさせていただきます。

1) 発表申し込み

発表者は、統合後の「動物の行動と管理学会」の会員の方に限ります。必ず2023年度会費を支払いの上、申し込みしてください。なお、発表申し込みの際には、①口頭発表(優秀発表賞エントリー)、②口頭発表(優秀発表賞エントリーなし)、③ポスター発表の3つからの選択となります。一般口頭発表の希望が多かった場合、対面参加の方にはポスターでの発表をお願いする場合があります。優秀発表表彰は学生を対象としています(詳細は下記)。

2) 講演要旨の作成

発表用の要旨作成依頼および発表資料の送付依頼は、申し込み期間終了後、発表者にお知らせします。要旨の提出締め切りは、6月30日(金)を予定しています。申し込み締め切りから要旨提出締め切りまでのスケジュールが少しタイトですので、あらかじめ要旨の作成を進めて頂ければ幸いです。要旨については、例年通りA4サイズ1枚で作成してください。

【重要】動物の行動と管理学会(以下、本会とする)は、特許法の規定による「特許庁長官が指定する学術団体」の指定を受けておりません。したがって、特許出願前に、本会が主催する研究発表によって、日本国内において公然と知られた発明の場合には、特許を受けることができません。特許申請をお考えの発表者におかれましては、十分、お気をつけくださいますようお願い致します。

3) 発表方法

発表資料の送付依頼も、申込み期間終了後、発表者にお知らせするとともに、本学会のWebページに公開します。

◇口頭発表

発表時間: 8分、質疑5分

発表方法: 発表者は液晶プロジェクターでスクリーンにスライドを投影し、同時にオンライン上で画面共有する方法により実施します。スライドはMicrosoft社のPowerPointで作成してください。発表用のコンピューター(Windows、Macの両方)は事務局で用意します。スライドは、あらかじめ提出して頂くこととし、提出締め切りは9月1日(金)を予定しています。

◇ポスター発表

掲示時間: 9月14日(木)9:30以降、中央館1Fロビーに掲示可能(予定)

サイズ: パーテーション(幅90 cm、長さ160 cm)に発表ポスターを掲示していただきます。推奨されるポスターサイズは横90 cm以内、長さ120 cm程度です。A4サイズやA3サイズなどの印刷物を現地で複数枚合わせて掲示することはできません。必ず1枚のポスターとしてご準備ください。ポスターを掲示するための画鋸やテープは事務局で準備します。

発表方法: 30分間のセッションタイムを設ける予定です。セッションタイム中は発表者は責任を持ってポスター前で発表してください。発表内容予告のためのプレゼンテーションタイムは設けませんので、ご注意ください。

4) 優秀発表表彰

学生(大学院生含む)を対象とした優秀発表表彰を行います。優秀発表表彰は、口頭発表に限定します。優秀発表表彰を希望される方は、Web申し込みの際、「口頭発表(優秀発表賞エントリー)」を選択して下さい。受賞者の発表は大会最終日に行い、後日学会のホームページ、ニュースレターにも掲載します。

5) その他

現在、非学会員で研究発表会へ参加を希望される方は、事前に「動物の行動と管理学会」に入会し、2023年度会費(一般・学生会員: 4,000円; 法人会員: 12,000円以上(1口4,000円×3口以上))の納入をお願い致します。なお、シンポジウムへの参加は、非学会員の方でも可能です。

特集

東海大学農学部 新キャンパス紹介

伊藤 秀一(東海大学)

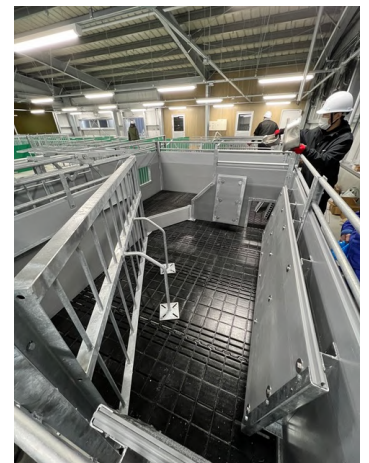
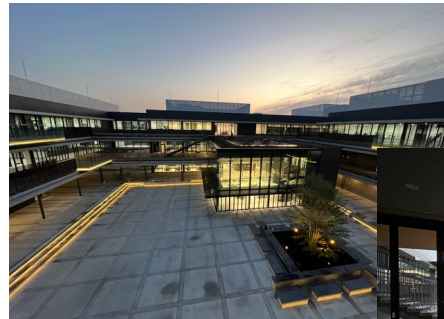
2016年4月16日に発生した熊本地震によって、東海大学農学部(阿蘇キャンパス)は、甚大な被害を受けました。特に、大学の近隣に一人暮らしをしていた学生さん3名の尊い命が失われたことは、最も大きな損失であり、最もつらく悲しい出来事でした。

震災から約3ヶ月後には、熊本市内にある東海大学の別キャンパスに移転して、仮住まい生活が始まりました。実習や研究を行っていた阿蘇の牧場・農場については、大きな損害がありませんでしたので、半年後には利用が再開されたのですが、熊本市内の仮キャンパスから、バスで約1時間程度だったので(震災直後の数年は、迂回道路しかなかったため2時間近くかかることも)、毎週の実習では行き帰りのバス乗車だけでクタクタに……。研究についても継続的な計画を立てることができず、教員も学生も歯がゆい思いをしていました。



阿蘇キャンパスでの研究・教育生活は、良い思い出ばかりだったので、阿蘇での復興を強く希望していたのですが、研究棟や講義棟が大きな被害を受けただけでなく、断層が直下であることや、地盤の状態から、かなり早い段階で国からの指示によって同じ場所での再建を断念せざるを得ませんでした。

いろいろな事情により、仮キャンパス生活開始から長い長い時間が経過してしまいましたが、2020年12月に阿蘇くまもと空港近くの「東海大学宇宙情報センター」の敷地内に新キャンパスの建設が始まりました。そして建設開始から約2年後の2023年4月に「阿蘇くまもと臨空キャンパス」が完成し運用が始まりました。震災から約7年後という非常に長い時間がかかりましたが、「ここはスタバか?」と思ってしまいそうなオシャレな図書館を中心に、ほとんどがガラス張りの最新デザインの研究棟・講義棟が完成し、東海大学っぽくない……。いや、東海大学ならではのモダンで素敵なキャンパスとなっています。



新キャンパスには、旧阿蘇のキャンパスと同様に、敷地内に搾乳牛舎、豚舎、鶏舎、綿羊舎で構成される実習場が併設されています(熊本を代表する褐毛和種については、阿蘇での放牧が必須と考えて、旧阿蘇キャンパスに残してあります)。全体的な特徴としては、アニマルウェルフェアを意識した畜舎となっています。

豚舎は阿蘇キャンパスと同様にペンによる単飼だけでなく、繁殖豚の群飼が可能なシステムも設置しました。また、ストールを使わない分娩施設であるfree farrowing systemsであるpigSAFEシステムを導入しました。

鶏舎は、肉用鶏と卵用鶏それぞれの部屋を作り、卵用鶏施設はビッグダッチマン社のエイビアリーシステムを導入しました。

搾乳牛舎は阿蘇キャンパスではスタンションを使っていましたが、フリーストール方式を採用し3連のミルクパーラーを導入しています。「東海大学農学部附属牧場はEUのアニマルウェルフェア水準」・・・と言って良いのか確信はありませんが、広報的にはそのようにふれまわっております。

熊本空港から徒歩で15分と、便利なのか不便なのか分からない立地ですが、離着陸時に上から見ることができますので、熊本にお越しの際には是非ご覧ください(タイミングが合えば、見学もOKですので連絡をお願いします)。

熊本地震から復興つつある東海大学農学部の応援をよろしくお願いします。



年会費納入について

多田 慎吾(会計担当・農研機構北海道農業研究センター)
二宮 茂(会計担当・岐阜大学)

動物の行動と管理学会は会員の皆様からの会費によって運営されております。会計年度は3月1日から翌年2月末日までとなっております。当学会では年度が始まるまでの前納をお願いしているところですが、2023年度の会費納入率はこれまでのところ約7割に留まっております。会費納入は随時受け付けておりますので、ご都合よい時にご対応いただきますと幸いです。

一般会員・学生会員の年会費は4,000円、法人会員の年会費は12,000円以上(1口4,000円×3口以上)です。ご納入には、学会誌3号に同封の払込用紙をご利用いただくか、郵便局備え付けの払込用紙(青色、振込人が振込料金を担する用紙)に以下の振込先をご記入の上、お振込みをお願い致します。電信振替やネットバンクによる振込みも可能です。また、複数年分まとめてのお振込みも受け付けております。

口座名称:動物の行動と管理学会(ドウブツノコウドウトカンリガッカイ)

口座記号番号:02220-0-143309

通信欄・ご依頼人欄におとところ、お名前を明記してください。

ゆうちょ銀行への送金によりご入金される場合は、

ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900 店番:229 店名:二二九 ニニキユウ 口座番号:0143309(当座)

にご送金をお願い致します。

編集後記

萩原 慎太郎 (福山市立動物園)

どうも、最近野生コウノトリの足環をつけに行った萩原です。今回も、皆さまのご協力で発刊することができました。今後も依頼がありましたら、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、記事にして欲しい内容などありましたら、萩原(hagiwara_s@animbehav-tokai.com)までよろしくお願いいたします。